

平成 20 年度

前 期 日 程

# 数 学 問 題

〔注 意〕

1. 問題冊子及び解答用冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけない。
2. 受験番号は、解答用紙の受験番号欄（計 10 か所）に正確に記入すること。
3. 問題本文は、3 ページと、5 ページと、7 ページと、9 ページにある。脱落している場合は直ちに申し出ること。
4. 解答用冊子には表紙 1 枚と解答用紙 5 枚と白紙 2 枚と一緒に折り込まれている。解答用紙をミシン目に従って切り離すこと。
5. 解答（途中の計算、推論等を含む）は、解答用紙の指定されたところに記入すること。指定された場所以外に記入してはいけない。
6. 問題冊子の余白は下書きに使用してもよい。
7. 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
8. 問題冊子及び表紙・白紙は持ち帰ること。

1 2 次 の 正 方 行 列  $A_0, A_1, A_2, A_3, \dots$  を

$$A_0 = O, \quad A_n = B + A_{n-1}C \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

で 定 め る . た だ し ,  $O$  は 2 次 の 零 行 列 ,  $B$  と  $C$  は 2 次 の 正 方 行 列 と す る .

(1)  $A_n(E - C)$  を  $B$  と  $C$  を 用 い て 表 せ . こ こ で  $E$  は 2 次 の 単 位 行 列 と す る .

(2)  $B$  と  $C$  を

$$B = \begin{pmatrix} 0 & 1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix}, \quad C = \begin{pmatrix} 1 & 3 \\ -1 & 1 \end{pmatrix}$$

と す る と き ,  $A_{3n}$  を 求 め よ .

(配点率 20 %)

2 点  $O$  で 交 わ る 2 つ の 半 直 線  $OX, OY$  が あ っ て  $\angle XOY = 60^\circ$  と す る . 2 点  $A, B$  が  $OX$  上 に  $O, A, B$  の 順 に , ま た , 2 点  $C, D$  が  $OY$  上 に  $O, C, D$  の 順 に 並 ん で い る と し て , 線 分  $AC$  の 中 点 を  $M$  , 線 分  $BD$  の 中 点 を  $N$  と す る . 線 分  $AB$  の 長 さ を  $s$  , 線 分  $CD$  の 長 さ を  $t$  と す る と き , 以 下 の 問 い に 答 え よ .

(1) 線分  $MN$  の 長 さ を  $s$  と  $t$  を 用 い て 表 せ .

(2) 点  $A, B$  と  $C, D$  が ,  $s^2 + t^2 = 1$  を 満 た し な が ら 動 く と き , 線 分  $MN$  の 長 さ の 最 大 値 を 求 め よ .

(配点率 20 %)

3

$N$  を 2 以上の自然数とする.

(1) 関数  $f(x) = (N - x) \log x$  を  $1 \leq x \leq N$  の範囲で考える. このとき, 曲線  $y = f(x)$  は上に凸であり, 関数  $f(x)$  は極大値を 1 つだけとる. このことを示せ.

(2) 自然数の列  $a_1, a_2, \dots, a_N$  を

$$a_n = n^{N-n} \quad (n = 1, 2, \dots, N)$$

で定める.  $a_1, a_2, \dots, a_N$  のうちで最大の値を  $M$  とし,  $M = a_n$  となる  $n$  の個数を  $k$  とする. このとき  $k \leq 2$  であることを示せ.

(3) (2) で  $k = 2$  となるのは,  $N$  が 2 のときだけであることを示せ.

(配点率 20 %)

4  $t$  を負の実数とし,  $xy$  平面上で曲線  $y = 2^{2x+2t}$  と曲線  $y = 2^{x+3t}$  および  $y$  軸で囲まれる部分を  $D$  とする.

- (1)  $D$  を  $x$  軸のまわりに 1 回転させてできる回転体の体積  $V(t)$  を求めよ.
- (2)  $t$  が負の実数の範囲を動くとき,  $V(t)$  の最大値を求めよ.

(配点率 20 %)

5

1 枚の硬貨を繰り返し投げる反復試行を行い、表が 500 回続けて出たときに終わるものとする.  $n$  を 500 以上の自然数とするとき, この反復試行が  $n$  回目で終わる確率を  $p(n)$  とする.

- (1)  $501 \leq n \leq 1000$  のとき,  $p(n)$  は  $n$  に関係なく一定の値になることを示し, またその値を求めよ.
- (2)  $p(1002) - p(1001)$  の値を求めよ.
- (3)  $1002 \leq n \leq 1500$  のとき,  $p(n+1) - p(n)$  の値を求めよ.

(配点率 20 %)